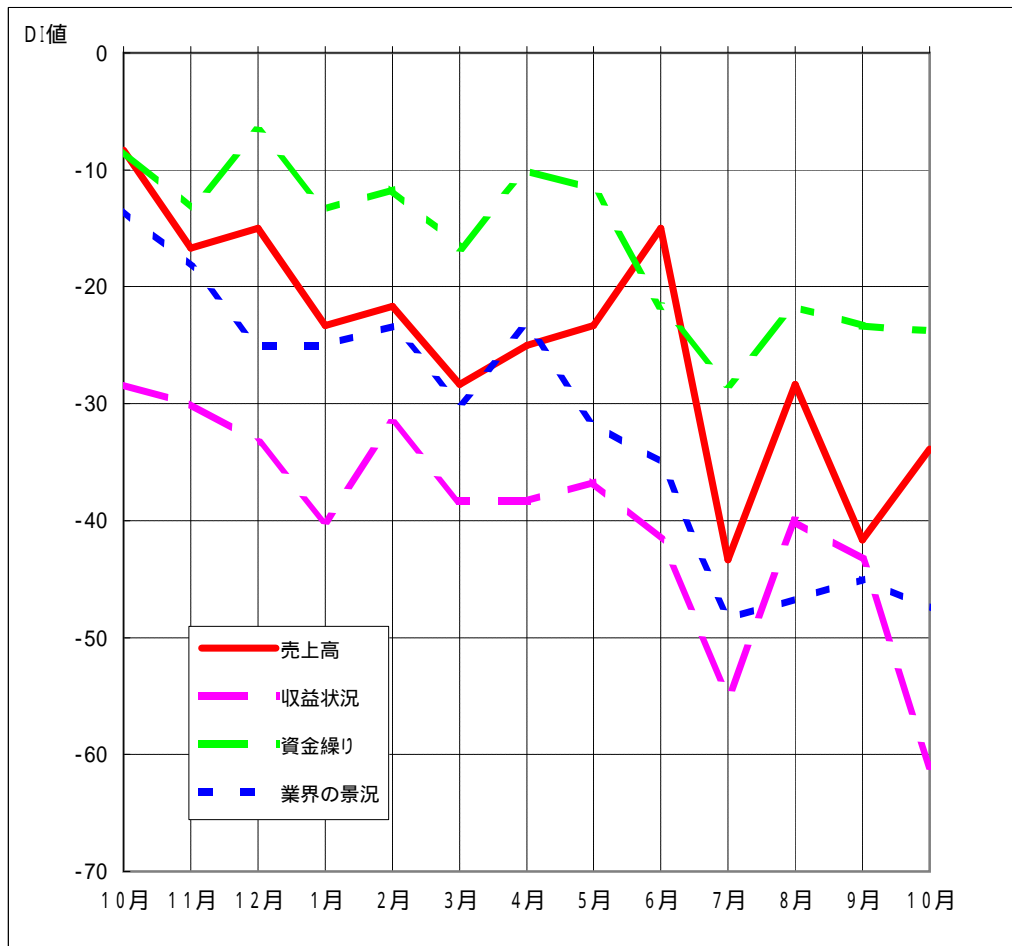


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成18年10月～平成19年10月

単位:ポイント



	H18			H19									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3	-15.0	-43.3	-28.3	-41.7	-33.9
収益状況	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7	-41.7	-55.0	-40.0	-43.3	-61.0
資金繰り	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7	-21.7	-28.3	-21.7	-23.3	-23.7
業界の景況	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7	-35.0	-48.3	-46.7	-45.0	-47.5

長期化する原油価格及び原材料価格の高値推移で依然として厳しい状況であり、10月のDI値は前年同月より上記全項目で悪化した。「売上高」DIは25.6ポイントの悪化でマイナス30%台に推移、「収益状況」DIについては、32.7ポイントの悪化でマイナス61%となった。また「資金繰り」DIについては15.4ポイントの悪化でマイナス20%台に推移し、「景況」DIについては34.2ポイントの悪化でマイナス40%台と改善がみられず、ここ3カ月の景況は、一進一退に推移しており、「収益状況」DIの落ち込みが目立っている。

組合の特記事項からは、製造業では全般的に原油価格・原材料価格の高騰をはじめとする経費の上昇により収益性が厳しい状況となっている。

非製造業については売上減・受注減とする報告が多く、また、製造業同様原油価格の高騰による影響で厳しい状況となっている。

また、今月に入り建築基準法改正に関する報告がいくつか見られ、今後他業種にわたる影響が懸念される。